2階病棟紹介：70周年記念

森　山　直　美

キーワード：産科ユニット体制；一般病床との混合病棟；新棟移転中の分娩
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 54-55）

はじめに

２階病棟は、旧３階西病棟がそのまま移転した病棟です。一般病床と産科病床を持つ48床の病棟です。昔から「赤ちゃんが居る病棟」として知られてきた病棟です。現在、看護師15名、助産師９名、看護助手４名のスタッフでチームを組んでいます。産科外来も含まれます。生命の誕生からエンドステージまでの幅広い対象に合わせた看護を提供しています。

一般病床

一般病床では、主に小児科、総合診療科、内科、耳鼻科、皮膚科、整形外科、外科の患者様が入院されます。新生児から、既往歴のある高齢者の患者様です。幅広い多彩な知識を必要とされます。受け持ち看護師を中心に患者様、そのご家族の身体、心などの様々な辛さを和らげ、安心した生活が送れるように、一番近くで寄り添い看護を提供しています。多職種と情報を共有、共同して質の高い看護の提供を目指し日々全力を尽くしています。

産科病床

産科病床では、アドバンス助産師を中心に、若手助産師も力を発揮し妊娠期から産褥期までお母さんと赤ちゃんの安全を守もっています。妊娠中は、妊婦健診、助産外来、母親学級で、産後は、産後事業ケア、育児相談、母乳外来など個別に柔軟に対応して継続的なサポートをしています。また、より良い妊娠から安全な出産へ繋げるために外来、病棟が一体となり情報を共有し常に手厚いサポート体制を組んでいます。現在、女性医師の着任と、新本館となり病室環境も大変よくなりました。新しいだけの良さではなく、一般病床との混合病棟であるが為の感染対策には、十二分注意をはらい産科ユニット体制を取っています。

誰もが「雲南病院で出産できてよかった。近くの病院で赤ちゃんが産めて安心だった」との声を私たちは、励みに頑張っています。

分娩件数も多くなり益々充実して来ています。

新棟移転当日の分娩－70周年記念

記念すべき70周年記念誌に必ず残さねばならないことがあります。それは、新棟への移転日、平成30年３月19日。移転の決起集会前に１本の外線電話が鳴りました。妊婦さんからの陣痛発来電話でした。スタッフ一同に緊張感が走りました。何はともあれ予定の順など関係なく分娩台を一番に新棟へ運び入れ、大至急で準備を整え新棟でのお産が始まりました。14時02分、2,848グラム、身長46.0センチの元気な男の子が産声をあげ誕生しました。記念すべき新棟最初のベビーの誕生でした。その日の移転後全体集会で、西統轄副院長（当時）よりベビーの誕生を発表された時には、職員一同から歓声が起こりました。退院されるときには、大谷院長（当時）から記念品贈呈がありました。記念品は、アンパンマンの食器セットでした。またこれからも、こんな素敵なめでたいことが沢山ありますように。

雲南市立病院看護部２階病棟看護科
著者連絡先：森山直美　雲南市立病院看護部看護科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

おわりに

出産からエンドステージまでの大変貴重な場で関わらせて頂く事を大切に思い看護をさせてもらっている病棟です。スタッフ全員とても元気です（**図１**）。誰にも優しい病棟であり続けられるように日々研鑽して参ります（**図２**）。

図１　２階病棟スタッフ

図２　産科病棟の一角にある新生児室：廊下から新生児の顔が見える、移転後新棟にも設置した、入院中の高齢者もスタッフもここで元気をもらっている

Present status of the nursing care unit on the second floor ward in Unnan City Hospital.

Naomi Moriyama

Nursing care unit on the second floor ward, Department of nursing care, Unnan City Hospital
Correspondence: Naomi Moriyama, Department of nursing care, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp